



カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2015年10月
コンサベーション・インターナショナル

中央カルダモン森林保全プロジェクト

森林の保全には、それを実現するための管理計画が必要ですが、前の計画の最終年であった2014年の後、管理計画がない状態でした。私たちは、森林局やその他のパートナーやステークホルダーと共に、次の五カ年計画（2016-2021年）の立案をすすめています。より簡潔で、具体的に実行にうつししやすいこの計画を完成させるために、民間企業やレンジャー、地方裁判所、知事、森林局のスタッフ、村長たちが集まって話し合いを重ねてきました。計画のドラフトを11月までに仕上げ、2016年の開始に間に合うように準備しているところです。



計画立案に関するレンジャーたちとの話し合い

トラストファンド（基金）の設立

中央カルダモン保護林トラストファンドの運営に向けて、必要な諸手続きが完了しました。10月初旬に初めての理事会が開催され、議長（任期は2年）も選任されました。トラストファンドの立ち上げを祝うセレモニーを2016年1月15日に開催する予定です。



Thmar Bang のレンジャーステーション前にて：ゲリー・エドソン前 CI プレジデント（中央）、ソン・ブンラ CI カンボジアカントリーディレクター（左から二人目）、トレーシー・ファレル CI メコン地域シニアテクニカルディレクター（左から三人目）、マナック CCPF プログラムマネージャー（左から四人目）



トラストファンド理事会

パトロールと違法行為への対応

森林が直面する課題に適切に対応するため、パトロールや取締の取組を見直しを行いました。新たなパトロール戦略も作成しています。コミュニティのパトロールへの参加、抜き打ち検査、違法行為多発地帯への介入等、多くの意見が出され、25名以上のレンジャーやシニアマネージャーが出席した9月のレンジャー会議で議論され、合意されました。



密猟者から助け出されたスッポンと、押収された釣り糸

ダイキン社による支援により、レンジャーたちは継続的なパトロールを実施しています。この3ヶ月間で、18台のチェーンソー、27kgの野生動物の肉、707個の釣り針、205個のコード、2台のバイクと車も1台が押収されました。4箇所の違法なキャンプが撤収され、捕らえられていた22匹のスッポンと18匹のサルが海や山に返されました。効果的なパトロール活動を維持するため、SMART（空間情報を組み込んだモニタリング・報告ツール）について再確認するだけでなく、GPSの使用法と地図やコンパスの読み方のトレーニングも2回行いました。



（左）ペンリー・ラCI取締役マネージャーによるGPSトレーニング



（右）Rolekステーションにて、パトロールの計画に関する話し合い

今期、3つの村でアロワナの池とシャムワニの保護区に焦点をあてた、コミュニティによるパトロールを行いました。77名（内2名は女性）が、のべ107日間のパトロールを実施し、アロワナの数が増えているという報告もあがってきました。



コミュニティパトロールで見つけられたアロワナ（ドラゴンフィッシュ）の稚魚

カメラトラップデータ

カメラトラップ（自動撮影カメラ）は、森の中に設置したカメラの前を通った動物を自動で撮影できる装置です。野生生物集団の健全度と多様性を知る上でとても有用です。カルダモンの森にも仕掛けられており、今期もさまざまな動物の記録が集められました。



カメラトラップにより撮影された画像

コミュニティ主導型のエコツーリズム（Community Based Eco-tourism）

コミュニティ参加型のエコツーリズムは、森と言う素晴らしい資源からコミュニティが収入を得るための有力なビジネスです。ダイキン社のサポートと、コミュニティのリクエストにより、私達はコミュニティ主導型のエコツーリズムを Tatoi Leu の村で始めました。管理体制が改善され、利益を分配する方法も決まりました。定款は現在作成中です。

レンジャーとコミュニティの提携戦略

レンジャーとコミュニティの関係を強める戦略が実施されました。レンジャーとコミュニティが信頼関係を築くことは、双方のコミュニケーションを良くし、保全の重要性を広く届ける上で重要です。そのために、レンジャーたちは、コミュニティのリーダー、学校、その他の鍵となる組織の人たちとの密な連携をめざしています。例えば、Rolek にあるレンジャーステーションから、65本の果樹がTang Bompong 校に送られました。

コミュニケーション

CI と森林局とが共同で、中央カルダモン保護林ニュースレター発行の準備をすすめています。季刊で、第一号は2016年1月発行の予定です。森林局やコミュニティ、その他、中央カルダモン保護林に関わっている他の機関も協力してくれています。

各号ごとに、特定の生物種を特集したり、森林局の取り組みを紹介したり、パトロールの効果を説明してレンジャーたちをはげましたり、ダイキン社のような中央カルダモン保護林の保全活動のパートナーのサポートを紹介したりする予定です。

関連する活動

米国魚類野生生物局のダン・ポルヘムス氏により、中央カルダモン保護林における魚の種についての調査が行われました。結果は、中央カルダモン保護区の管理に役立てられます。